

本時案				
学習内容	学習活動	指導過程	指導上の留意点	観点・評価規準
導入 (5～8分)	1. 本時の目標をかく。 めあて：確率を実生活に 応用 できるようになろう！	1. 本時の目標を伝える。		
展開 (20分)	2. 問題を読み取る。 問. 10000 人に 1 人の割合で人間に感染しているウイルスがある. このウイルスに「感染している」「感染していない」を調べる検査の精度は 99% である. ある少年はこの検査を受け, 「感染している」という結果が出た. このとき, 少年が“ 実際に ”感染している 確率 は約何 % であるか? 3. 問題を解こうとする.	2. 問題を板書する. (プリントを配布する.) 3. 状況に応じてヒントを出す.	*生徒が問題を理解できてない様子の時は, 補足する.	① 数学への関心・意欲・態度 -[i], ② 数学的な見方・考え方 -[i]
(12分)	4. グループで話し合う. 5. 代表で 2 グループほどが発表する. また, それを聞く.	4. グループ活動させる. 机間指導する. 5. 2つのグループをこちらで選んで発表させる.	**違う意見になるように選ぶ.	① 数学への関心・意欲・態度 -[i], ② 数学的な見方・考え方 -[i], ③ 数学的な技能 [i], ④ 数学についての知識・理解 -[i]- [ii] ① 数学への関心・意欲・態度 -[ii], ④ 数学についての知識・理解 -[iii] ④ 数学についての知識・理解 -[iii]
まとめ (10分)	6. 話を聞く. 7. 話を聞く. 板書をプリントに記入する.	6. 発表の講評を行う. 7. 本時のまとめを行う. 次回は問題演習を行う.	***生徒に自信を失わせないように細心の注意を払う.	
備考	使用教科書： 改訂版 数学 A 数研出版	準備物： ワークシート		